

# しょうわみらいかいぎ だい かい さんこうしりょう 昭和未来会議（第3回）の参考資料

※第3回ではより関心の高い分野に分かれてアイデアを検討したいと思います。

（理想の未来や課題の意見については、第2回昭和未来会議のまとめ資料をご参照下さい）

## れい こうりゅうそくしん など こうりゅう きかい 【例1】『交流促進① ～イベント等で交流の機会を！～』

※これまでの主なアイデア

- ・昭和地区の良さを他地域にアピールする・昭和地区、東小学校について、他の地域の人にもっと知ってもらう。
- ・多文化を味わう！
- ・積極的にいろんな呼びかけを！ →いろんなきっかけづくりになる
- ・外国人との交流。旅行、スポーツの機会を増やす
- ・外国人と日本人の交流できるイベントのアンケートを行う（外国人、日本人）
- ・お祭りで外国のリーダーを役員に
- ・お祭りなどのイベントを有効に使い、外国人と日本人のコミュニケーション（話し合い）をする
- ・多国籍料理を皆で食べる
- ・食べながら楽しく会う会とする
- ・5年生（東小）は、多国籍料理を食べる
- ・世代間交流の場を企画する（児童センター）
- ・生涯学習（古典、ウォーキング）で繋がる！？
- ・広い場所 →東小体育館を借りる
- ・お祭りはかなりやっている。数を増やすより充実！周知！
- ・昭和地区の全町内が一緒にやるイベント（盆踊り等）
- ・★夏祭り。昭和全体の祭りとして開催
- ・「東っ子カーニバル」を生かしていくようにしていきたい
- ・★若い人参加して！

## れい こうりゅうそくしん こうりゅう ば 【例2】『交流促進② ～交流の場づくり～』

※これまでの主なアイデア

- ・知恵いっぱいの人達がいる。知恵を出せる場があればよい
- ・児童センターでお茶会。地域の高齢者に講師をお願いする
- ・昭和地区に公民館をつくって！
- ・町内会のまとまりをつくる（例：一軒家グループと団地グループ）
- ・町内会の重要性を理解してもらう
- ・老人会活動活性化。ガンバレ！
- ・皆さん知っていますか、もやいこモーニング。毎朝元気に行っています。ぜひ一度見に来てください
- ・既存の活動もあるので、参考に。スクールガード、NPO法人みらい、老人会、昭和ウォーキング会
- ・昭和団地外周（二～五丁目）、団地内商店街、団地（ビル）とのコミュニケーションの徹底
- ・ポイ捨てをしないように、学校などで教育したり、伝える活動などをする
- ・外国人の苦労話を聞いてみる・外国人のことを知る機会が必要
- ・外国の住居の常識を調べる
- ・外国人へのコミュニケーションは、学校を通じてならできる
- ・子どもを通じたコミュニケーションができる
- ・あいさつを続ける。自ら・外国人、子どもにあいさつ、笑顔を！・日常のあいさつをきっかけに・しゃべることを楽しめる機会・外国人の方とお話するきっかけを

【例3】『支援が必要な方に対してできるコトを考えよう』（高齢者、外国人、子ども等）

※これまでの主なアイデア

- ・ 近所づきあいでできない人をどうするか？・日本人同士のコミュニティもなくなってきている
- ・ ひとり住まいの人との交流で助け合える関係。将来どんな暮らしになるか不安
- ・ ごみ捨てルール知っているのか？伝え方に問題はないのか？・公園などいろんな場所のポイ捨てが多い。なくしたい
- ・ ごみ捨て立番。外国人との会話ができています
- ・ 猿渡川が荒れているので、きれいにする・クリーンサンデーなどを増やし、ごみ（ポイ捨て）を減らす（ごみ1個でお金を払うなど）
- ・ 六号グラウンドには夜は入れないようにしてほしいです
- ・ 外国人は飲酒、騒音等マナーが悪い。
- ・ 外国人と親しくなれば、迷惑行為にも気付いてくれる。あいさつ、笑顔で！
- ・ 言葉の壁。あいさつするのは日本人も外国人も、する人もいればしない人もいる
- ・ 外国の方と協力して町内を過ごしやすいまちに
- ・ 家庭菜園を外国人でも行い、家計を助ける・家庭菜園などを一緒にやって接点をもつ
- ・ 広報知立（同報無線）。団地内の多言語放送（あいさつ）
- ・ 外国人は防災訓練に参加しない・災害が起きた時に、日本人と外国人が助け合える所にこの昭和地区がなればと思う
- ・ 未来会議の参加者は日本人ばかり
- ・ 外国人のモラル上がった？変な人が減った。「リーマン」前後で変化があった
- ・ バス停での交流が増えた。彼らは日本人と交流したいと言う
- ・ 魅力ある街 →子育て世代にとって
- ・ 子どもへの声かけ（逃げてしまう子どもも多いけど）
- ・ 牛田駅まで歩ければよいけど、動けなくなってきている人はどうなんだろう
- ・ 車いす等が通行できる環境整備（道路等）
- ・ 買い物する場所が少ない
- ・ 団地の外はお年寄りが多い
- ・ 体が思うように動かない高齢者が、外に出たくなるような仕組み
- ・ 健康（管理）の情報拡大して、皆で助け合う地域
- ・ 高齢者を助ける →小中学生活用！
- ・ 高齢者が元気で日々を送れるように、サロンを皆さんでやっていきたい。手伝ってくださる方が少ない
- ・ 病院との連携からのという切り口は？

【例4】『昭和地区の魅力を整理してPRしよう！』

※これまでの主なアイデア

- ・ 昭和地区の良さを他地域にアピールする
- ・ 昭和地区、東小学校について、他の地域の人にもっと知ってもらう。
- ・ 地域で子どもを育てるわができればよいと思う。よその子も孫のように思えたら、お互いによい
- ・ 魅力ある街 →子育て世代にとって
- ・ 東小学校が地域のつなぎ役になってほしい
- ・ 老人などを思いやることを学校（小中）で勉強する機会をつくる
- ・ 外国人の方が、子どもはあいさつができています
- ・ 空き家・空き地の活用



☆様々な活動に共通する重点テーマ

- ◎若者に魅力ある街に！（若者の定住・移住が必要、そのためには現住の若者が生き活きと活躍し、魅力を実感する昭和地区に、それを皆が応援する気運）
- ◎誰もが安心して暮らせる昭和地区に！（高齢者も、外国籍住民も、子どもたちも、みんなが共に安心して暮らせる昭和地区！どこかが欠けると軌轢が）

☆行政や関係団体と共に考えること、情報共有したいこと（内容に応じて随時関係者からの説明や意見交換を行う）

- ・ URの方向性
- ・ 知立東小学校についての共通認識
- ・ 公民館等、コミュニティの拠点づくり
- ・ 公共交通の方向性

※その他、既存の地域活動や地域資源の情報共有や理解促進は随時行いましょう！（「知らない」ことで、未来の可能性が損なわれるのは勿体ない！）